

サンドアートパフォーマンスグループ SILT-シルト-



2012年2月結成。世界初の複数名によるサンドアートパフォーマンススタイルを確立し、現在10名のメンバーで構成されています。

「日本レコード大賞」に生出演し、演歌歌手・水森かおりと共演、「ミュージックステーション」では歌手・秦基博と生コラボするなど、テレビ番組にも多数出演しているほか、カザフスタンで開催された「アスタナ万博」に日本代表として参加し、パフォーマンスを披露するなど、国内外で活躍しています。

人気アイドルグループ・嵐のライブ映像を制作したほか、加山雄三や林家たい平など、多数の芸能人にサンドアートの指導を行うなど、多方面でも活躍する一方、札幌の小学校を訪問するなど、社会貢献活動も精力的に行っています。

2014年6月に日本初のサンドアート絵本『ぼくね、ほんとうはね。』を出版、2017年1月にはリーダー・船本恵太の著書『「砂」と心〜サンドアートが教えてくれたこと〜』が出版されています。

ダイナミックかつ繊細なタッチで描かれるサンドアートパフォーマンスをぜひお楽しみください。

～広尾町芸術鑑賞町民劇場～

その昔、広尾町には二つの劇場がありました。

ひとつは、広尾中央映画劇場。もうひとつは広尾劇場。

演劇や映画上映会、音楽会などが催され、町民の娯楽場として多くの人で賑わいました。しかしその後、家庭におけるテレビの普及とともに昭和40年代に2つの劇場は静かに幕を下ろしました。

それから約20年後の昭和58年、「町民に優れた芸術文化の鑑賞の機会を提供することにより、町内の芸術文化団体の育成、発展を目指す事」を目的として実行委員会が組織され、広尾町芸術鑑賞町民劇場（以下「町民劇場」）がスタートしました。

町民劇場では、児童福祉会館や学校体育館、コミュニティセンターなど会場を固定せず様々な場所で、演劇や演芸、音楽鑑賞など様々な催しを行ってきました。

町民劇場は、かつて町にあった二つの劇場の精神を受け継ぎ、優れた舞台芸術を低料金で提供し、子どもから高齢者まで幅広い年代の町民が、一流の芸術に触れることができるとても貴重な機会を創っています。



【チケット取扱場所】

広尾町教育委員会
広尾町児童福祉会館（図書館）

※詳しくは、公式ウェブサイト
<http://hiroo-gekijou.jp> / を
ご確認ください。

ご来場にあたっての注意事項

- 駐車スペースに限りがありますので、お車はなるべく乗り合わせでお越しください。
（お近くにお住いの方はなるべく徒歩でお越しください。）
- 路上駐車は近隣住民の迷惑になりますので、必ずご遠慮ください。
- 未就学児は保護者同伴の上、無料でご入場いただけます。

【お問い合わせ】

広尾町教育委員会社会教育課社会教育係
☎01558-2-0181
E-mail k-shakyo@town.hiroo.lg.jp